

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	紙屋小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	19 人		溝口 誠二	司会進行
開催日	平成 28 年 7 月 20 日 (水)		西上 隆	活動報告 (総務文教)
開催時間	午後 7 時～午後 8 時 41 分		原 勝信	(経済産業)
会場	紙屋老人福祉館		大迫 みどり	(市民厚生)
その他			◎福本 誠作	(広報広聴)
			西上 隆	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「より豊かな市民生活の向上を目指して」 ～住民自治に根ざしたきずな協働体について～ ～人口維持対策（雇用対策）について～ ～子育て・少子化対策について～		
【意見交換の概要】			
□議員視察の岡山県高梁市の視察報告書をみて、保育園、幼稚園、小中学校のPTAの皆様方に知らせ、若い世代の声を聞く場を作って頂きたい。			
■若い子育て世代の方々と分野別の意見交換会もやる。今後そういう意見交換会も増やしながら実際何が必要なのかというのを色んな形でやって行きたいと考えている。			
□野尻町全体でどんな活動をするのか、区長、組長が集まって話し合いを行った。協働体の大きさと範囲で予算のことで疑問がある。野尻地区は人口8,000人いるが、須木地区は2,000人 細野地区は5,000人であるのに同じ予算額である。不公平であるので少し人口に応じて上げてもらいたい。自主財源を掘り起こし、活動に参加してもらえ人材をふやしたい。			
■予算関係は議会でも検討し、行政側にも伝えたい。			
□高校、大学の無償化はできないか。			
□農業の後継者はほとんどいない状況。宅地化して南海トラフに備えて、若い世代に来てもらうような思い切った政策は出来ないか。			
■私たちも色々勉強をして、今後検討していきたい。			

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□小林大運動会での老人クラブに属しているがグランドゴルフ大会はないのか。

■グランドゴルフ大会は市の球技大会の中で実施されている。

□特定健診の推進のため、のぼりを作ったりポスターを作ったりして取り組んでいる。

■健診受診率は伸びている。元気な人が増えてくるのを目標に、議会としても協力したい。

□紙屋から高城線は災害時の迂回路になっている。木が茂っていて大型車が通ると木の枝を落として走行していく。中央の白線も消えて危険。

■県と協議して、対応している。

□利便性の悪い畑田んぼが多く借り手がない。法改正で遊休農地の利用権の設定が図れない。現場は困っている。

□現場に沿った法律の改正をしていただくように、議会としても意見をあげて頂きたい。

■当局も現状は把握しており、解決に向け対応している。

□市外に居住して管理をされてない空き家・空き地がある。対策は。

■苦情が来たときに所有者を特定し伝えている。

□紙屋出張所の業務範囲が住民票など限られている。高齢化も進み、車にも乗れなくなる。通信網も発達し、何らかの対策が取れるのではないかな。

■支所でできることは増やすべきだと思う。行政との調整もあるので意見は行政に伝える。

□今後の少子化対策をどうするのか。

□市全体として区、組に入ることを条例化し、取り組むべきと思う。

■議会としても検討していきたい。

□歩数計を使った健康づくりで効果を上げている自治体があるので研究してほしい。

■新潟県見附市がポイント制にして全体的に健康になった。以前議会の中でも出ていた。今後、委員会でも検討していきたい。

□紙屋小学校は、紙屋大橋からきれいに見えていた。今は竹藪で払うのも困難。市で検討してもらいたい。

■学校整備については、シンボルとなる小学校が皆から見えるというのは、大事かと思うので、学校教育課と協議したい。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

□報告説明について、この場で詳細な委員会の報告を聞いても分からない。ここに参加の皆様の意見をきくのが主眼ではないのか。

■前回同様小林がいかに元気になるかがテーマであり、現在進んでいるところまでの報告をしてそれに質問をいただきたい。